



発行所 鹿兒島市秘書課
編集人 藤山良弘
発行人 南日本新聞社印刷局

市の現勢

人口	138,438
男	151,169
女	289,607
世帯数	71,198
面積	180.58km ²
東	25.55km
南	16.90km
北	
西	

広がり 東25.55km 南16.90km
-11月1日しらべ-

市政だより この市政だよりは
一りの配布 一万部印刷して、
南日本新聞鹿兒島毎日新聞にお
りこんでいます。もし隣近所
に届いていないところがありましたら
ご近所の方に、お返事を下さり
たい。なお、お希望者は市庁
に届けておられます。

歳末助けあい運動

今年も十二月一日から、全国一斉に歳末助けあい運動が始まり、皆さんの協力によって温かい愛の手が結ばれていっています。私達の中には健康で明るい生活をおくりたいと思いが、いろいろの理由で、最低生活もできない人たちがいます。これらの人たちは、やがて楽しいお正月がくるというのに、お餅あらくに食べられない気の毒な人々です。またこの寒空に満足に着るものもなく、ふるふるしています。

温かい思いやりで みんなで明るい正月を

みんなで明るい正月を



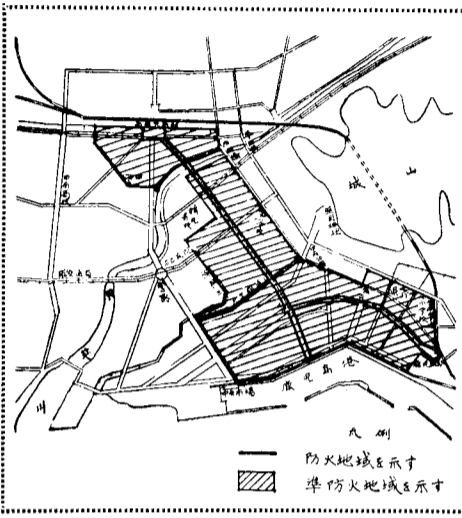
人を慰め、励まし、みんな揃って明るいお正月を迎えることが、日からの生活に明るい希望をあたえるよう、皆さんの協力をお願いします。どうか市民としてこの運動に、みなさんの協力で集めたお金をお協力ください。なおお振込の受付は、市役所社会課(二階)で十二月三十一日までとあつたかいます。

共同建築物に補助 防火地帯に適用

市街地には別図のように、防火地帯及び消防防火地帯が指定されています。

この地帯内に建てる建物は、防火地帯及び消防防火地帯が指定されていることになっています。

この地帯内に建てる建物は、防火地帯及び消防防火地帯が指定されていることになっています。



母子福祉資金の貸付

申込地区は一月十六日まで

福祉事務所では、恵まれない母子家庭の厚生をはかるため、つぎのとおり、母子福祉資金の貸付申込みの受け付けを始めた。希望者は一月十六日まで、福祉事務所母子係(二階)にご相談ください。

住宅と分譲 宅地の

- 分じよう住宅
 - 二百坪分
 - 一戸当敷地六〇坪×九〇坪
 - 建築費十三十七坪
 - 頭金約二十八万円〜四十四万円
 - 完成は五月十日頃
- 分じよう宅地
 - 一戸当敷地六〇坪×一〇〇坪
 - 頭金約六万円〜二十三万円

給食給付の制限

健康保険の給付制限 健康保険に加入していない方が、また十一月の市議会が貧困のため市民税を免除されている人や、そのほか市長が特別の理由がある認められた者は国民健康保険の被保険者としていないことも議決に限りません。

年末の窓口事務

市役所の仕事は、例年より十二月十九日から、一月三日(日)まで休みとなります。この間に必要な書類(印鑑証明、戸籍簿本、異動証明などは二十八日までにお取りください。なお年末になるとの窓口も大へんごみあいますので早目にしてください。

市民年始会の受付

昭和35年の市民年始会の受付をつぎのとおり行います。

- ◇とき 12月22日まで
- ◇会場 一〇〇円(祝盃費)
- ◇受付 市民相談室
- ◇用紙 受付に準備してあります。

種類	内容	金額	必要な書類	返済方法
生	事業を始めるのに必要な資金	一〇万円	戸籍簿本 事業計画書	二年以内返済
事業	事業を継続するために必要な資金	三万円	戸籍簿本 事業計画書	二年以内返済
就職	就職先が決定してその支度に必要な資金	一〜二万円	就職先の証明書	二年以内返済
学	学費に困っている新入学者は仮決をなして入学後、学費を決定する	月額 二〜三万円	戸籍簿本 第三学年 奨学金成績証	卒業後半年以内返済
修	理容学校修業奨学 奨学金	月額 一五〇〇円	戸籍簿本 第三学年 修業成績証	卒業後半年以内返済

市政のご相談

どなたでもご自由にご利用ください

- 新しい「市民相談室」が市庁玄関のところに設置されました。
- 庁内案内や市政のこと何んでもご相談ください。
- 陳情、要望、苦情など受付けます。

市民相談室

